

# 平成23年度事業報告

## ○概要

景気の低迷が長く続いたため、国民はその回復に期待をかけていた折、昨年3月11日に発生した不測の東日本大震災及び福島第1原発の放射能漏れ事故は、経験したことの無い未曾有の被害となり、さらに各地での余震、秋口の紀伊半島を始めとする記録的豪雨などの被害が重なって、我が国の戦後65年のうちで最も打撃の大きい年となってしまいました。

特に、国を挙げての放射能漏れ事故対応は暗中模索で、今後のエネルギー施策に影を落とし、国内のみならず各国の原発の在り方を変えるほど影響が大きく広がりました。

このような大災害下で、私達は減災への心掛けや、絆の大切さを改めて痛感しましたが、いずれもこの復興などは右肩下がりの経済情勢と、少子高齢化が進む中で国民の力によって遂行しなければならないわけで、既に人心が変わり、政治、経済、文化を始め国民生活に至るまで、考え方が一変しています。

また皮肉なことに時を同じくして、欧州の金融危機などに端を発した不安は、歴史的円高を招き、産業界においては企業の海外移転に拍車をかけ、さらに我が国を代表する家電や自動車メーカーでは、国内生産の縮小を打ち出すなど、産業の空洞化が進んでしまいました。

従って雇用の改善どころか、下請け製造業を中心に労務単価が切り下げられ、これらによって消費生活においては節約、安物指向が定着し、事業所では外注量を抑制するなど、社会全体の業務量が減少して、高齢者就業は敬遠され、シルバー事業の就業の確保が困難になりました。

この数年来、行財政改革、年金、医療制度などの改正や、65歳継続雇用制度により、シルバー事業の背景が厳しくなっていることから、運営の合理化に努めて来ましたが、本年度内に起きた社会情勢の変化に、さらに対処しなければならなくなっています。

このような社会情勢下で、平成23年4月1日に予定通り新法に基づく公益社団法人として再発足し、一層公益性を重視した運営が求められることになったわけです。

当センターの平成23年度の概要は、会員数は年度末時869人で、この数年のうちで最も少人数となり、高齢者が増えている中で不思議な状況です。

事業の基本である受託業務の受注額は、3億7,100万円で、前年度比7.4パーセント減となってしまい、役職員による事業所訪問、事務局によるリピーターの掘り起こしなど、就業の確保に努力いたしましたが、年度初めに複数の大口事業所から受注できなかった分を、経済情勢の厳しい状況にさらされ、挽回することができなく、不本意な結果でありました。

その他の計画した事業につきましては、会員の皆様のご協力で実施できましたので、一定の成果と思います。

そのうち重点を置いた事業について申し上げますと、1つには就業の確保です。これは最近年の厳しい時代の最大の課題となっています。

2つには会員の知識、技術の向上です。発注者は質の高い労務を求めているのに対し、会員は入退会が多く、仕事に不慣れな場合が多いことから、独自事業として各種の講習会を設定して受講を呼び掛け、技能の習得に努めました。

3つには安全推進です。シルバー事業の最優先課題として安全就業大会の開催を始め、常に事故防止の啓発に意を注いでいますが、少しの気の緩みから事故が発生してしまいます。当センターでは、お互いに事故防止に資するため、昨年度から「安全確認 声かけ運動」を提唱し、いつでも、どこでも声を掛け合って安全を喚起するように運動を継続しました。

4つには健康づくりへの支援です。特に高齢男性の出不精を解消する目的で、飯田市の委託を受けて「男性はつらつ運動塾」の開講や健康管理講習会を開催して、会員の自主的健康づくりを促しました。

5つには会員への運動方針の浸透や、会員同士の意思疎通を図ることです。このために数年前から年間4行事を義務出席に定めて出席を促していますが、例えば第7回地区懇談会では、延べ700人、出席率78パーセントの出席を得て、経済活動低迷時における就業確保の抜本対策など重要課題について話し合いを深め、センター運営に有意義でした。

その他来年度から5カ年を1期間とする第3期中期計画の策定に、委員会を設けて取り組み、これから予想される厳しい時代の運営指針とすることにしました。

次に当センターの収支決算状況についてですが、当初予算は、国の補助金の3分の1削減に伴う財源対策として、6月就業分から事務費率を1パーセントアップして、これを会員負担とするとともに、傷害保険料の一部1人1,000円を会員負担としていただくことにいたしました。赤字計上でしたが、決算においては、職員採用を1人取りやめたため、人件費が節減されるなどの結果黒字となりました。

これには構成市町村の従前と変わらない支援によるところが大きく、ご配慮に感謝するところでございます。

前述のようにこの1年間に起きた情勢の変化は、国の内外ともに大きく、また不安定要素もあって、今後しばらくはこの影響は続くものと予測されます。

高齢化が進展する中でシルバー事業は、変化する環境に順応しながら使命を果たすことが求められます。

それには、会員一人ひとりが右肩上がりの時代感覚を払拭すると共に、運営の在り方を自主・自立へと転換することです。そして会員は、当センターの活動を通じて地域の担い手となり、厳しい時代に生きる自らの老後を、自らの手で豊かにしなければなりません。

当センターは、これら高齢者の活動の拠り所として機能を整え、社会の要請に応えたいと思います。

以下、本年度実施しました事業につきまして、実施状況を報告いたします。

○主な事業の実施状況

1 会員の状況

区 分	本年度末 会員数	前年度末 会員数	増減	本年度 新入会員数	本年度 退会会員数
男	670人	688人	△18人	82人	100人
女	199人	224人	△25人	23人	48人
計	869人	912人	△43人	105人	148人

2 受託事業等の実績

(1) 一般事業

項 目	本年度	前年度	比較
受 注 件 数	5,177 件	4,948 件	229 件
契 約 金 額	371,132,082 円	399,050,228 円	△27,918,146 円
配 分 金 額	327,041,278 円	356,433,685 円	△29,392,407 円
就 業 延 日 人 数	77,336 日人	82,601 日人	△5,265 日人
就 業 率	99.8%	98.6%	1.2 ポイント

(2) 独自事業（再掲）

区 分	契約金額		内 容
	本年度	前年度	
おさらい教室	401,500 円	568,500 円	夏 23 人 冬 22 人 春 40 人 計 85 人
特別学習教室	3,989,160 円	3,687,390 円	小学生 13 人 中学生 31 人
門 松 づ くり	1,369,590 円	1,286,500 円	門松 91 基、ミニ門松 93 基、しめ縄他
手 作 り の 会	96,000 円	155,850 円	イベントで展示、即売
刃 物 研 ぎ	154,200 円	144,450 円	イベント及び作品展で実施
火災報知機設置	0 円	7,600 円	
合 計	6,010,450 円	5,850,290 円	

(3) 企画提案事業

平成21年度から、平成23年度までの3年間、国、市町村の補助を受けて「高齢者生活援助事業及び生きがい活動支援事業」に取り組みました。

- ① 高齢者世帯の家事支援、農作業支援や認知症サポートの事業に取り組みました。
- ② 傾聴研修会の開催

期 日 11月21日（月）

場 所 飯田市勤労者福祉センター

内 容 「私と地域と傾聴」

(4)「男性はつらつ運動塾」の開催

介護予防事業のひとつである「男性はつらつ運動塾」を飯田市から受託して実施しました。

日程 平成23年9月から24年2月までの隔週水曜日 全12回

場所 県公民館大会議室

指導 健康運動指導士

出席者 延べ 計205人

3 就業開拓の取り組み

- (1)9月、就業推進委員会理事6人と職員が手分けし、管内企業57社を訪問、新規の発注、さらなる発注のお願いをしました。
- (2)過去に発注歴のある会社・個人に、シルバーへの仕事ををお願いするダイレクトメールを送りました。
- (3)緊急雇用対策事業を活用して「ふるさと雇用再生事業支援アドバイザー」を1名設置し、南信8地区シルバーの就業開拓に取り組みました。
- (4)昨年度に引き続き、1会員1就業開拓に取り組みました。
- (5)55歳以上の高齢者の多様な就労を支援するための、シニア就業支援プログラム事業により県シルバー人材センター連合会により「地域ニーズ開拓員」1名を設置し、就業開拓に取り組みました。

4 会員加入の促進

1月を除いて毎月、全11回の入会説明会を実施し、計133人の出席がありました。

また、喬木村・松川町において全戸を対象としたシルバー加入のチラシを配布し、入会相談会を実施しました。この2年ほど会員数の減少が見られ、高齢者の増加が会員の増加につながらないのが実態です。

5 地区懇談会の実施

センターの運営方針を会員に伝達すると共にセンター活動に会員の声を反映させるため、地区懇談会を開催しました。今年度はシルバー運営ルールの確認や契約額の減少を受けての就業拡大の取り組み、就業単価の見直しなどについて、各地区で熱心な論議が交わされました。

どの地区も多くの方が出席していただき、地区全体で78パーセントを超す出席率となりました。

地区名	会員数 人	地区出席 人	全体会出 席	合計 人	出席率	前年度 出席率
-----	----------	-----------	-----------	---------	-----	------------

			人			
橋北・橋南	40	22	5	27	67.5%	72.1%
羽場・東野・丸山	60	48	4	52	86.7%	81.3%
松尾	72	57	7	64	88.9%	84.6%
下・上久堅	37	27	6	33	89.2%	85.4%
龍江・千代	43	31	3	34	79.1%	90.7%
竜丘・川路・三穂	84	58	15	73	86.9%	83.1%
伊賀良・山本	85	58	2	60	70.6%	79.2%
鼎	113	82	8	90	79.6%	79.7%
上郷・座光寺	137	86	13	99	72.3%	80.1%
遠山	37	23	0	23	62.2%	87.2%
高森町	53	34	2	36	67.9%	81.6%
豊丘村	57	48	1	49	86.0%	87.7%
松川町	45	31	0	31	68.9%	78.6%
喬木村	31	27	0	27	87.1%	76.5%
合 計	894	632	66	698	78.1%	81.5%

会員数は2月末現在

## 6 第3期中期計画の策定

第2期中期計画(平成19年度～平成23年度)の計画期間が終了することから、第3期中期計画の策定に取り組みました。会員、役員、職員が結束して、厳しい時代を乗り越えていくための、「道しるべ」となる基本計画です。

計画期間 平成24年度～平成28年度(5カ年間)

策定委員会の開催状況

第1回策定委員会	10月14日
第2回 "	11月16日
第1回策定小委員会	12月 5日
第2回 "	2月 3日
総務委員会	3月14日
第3回策定委員会	3月22日

## 7 関係機関との連携

構成市町村と密接な情報交換を行い、理解、協力を得る中で、補助金等の確保及び緊急雇用対策事業や、企画提案方式事業など、事業の確保を図りました。そのため、構成市町村担当課長会議を

2回開催しました。

この他、年度始め、年始などの機会をとらえて、構成市町村やハローワークを訪問しました。

## 8 普及啓発活動

会員及び地域に、シルバー事業の理解を深めていただくため、次のようなPR活動を行いました。

(1) 「シルバーだより」年間3回（第72号～74号）発行

(2) 市町村イベントに参加し啓発活動実施

松川町	ふれあい広場	10月16日	紹介コーナー、手作り作品即売、刃物研ぎ
飯田市	生活と環境まつり	10月29日	紹介コーナー、手作り作品即売、刃物研ぎ
喬木村	喬木村総合文化祭	11月12日	紹介コーナー、手作り作品即売
豊丘村	豊丘まつり	11月12、13日	紹介コーナー、手作り作品即売
高森町	高森ふるさと祭り	11月19、20日	紹介コーナー、手作り作品即売、刃物研ぎ

(3) 全員がシルバーのチラシ5枚づつを配布し、シルバーのPR活動、就業拡大に努めました。

(4) シルバーのぼり旗の活用 各種事業にPR用として活用

## 9 社会奉仕活動の取り組み

シルバーの基本理念の一つである奉仕の精神の発揮の場として、またシルバーのPR活動の一環として、地区班ごとに地域の公共施設を中心に社会奉仕活動を実施しました。

地区名	実施月日	参加人数	活動内容
橋北・橋南	7月31日	20人	りんご並木通りの除草、清掃
羽場	9月12日	18人	セントラルパーク内の草刈り、清掃
丸山・東野	3月11日	22人	風越寮、東野公民館の窓拭きなど
松尾	7月26日	39人	松尾自治振興センターの草刈り、清掃
下・上久堅	9月24日	30人	竜東デイ周辺の草刈り、清掃
千代	9月1日	19人	千代マレットゴルフ場の植木剪定と刈り込み
龍江	7月25日	14人	特養ゆいの周辺草刈り、刃物研ぎ、七和の里草刈り
	8月29日	5人	田中の家周辺草取り
竜丘	9月30日	31人	竜丘自治振興センター周辺の草刈り、清掃、剪定
	11月4日	7人	竜丘保育園の草取り
川路	9月12日	11人	ハートヒル川路の草刈り、植木剪定、清掃
三穂	8月1日	12人	三穂自治振興センター周辺の草刈り、清掃
伊賀良・山本	8月28日	46人	運動公園内の草取り、清掃
	9月25日	9人	〃
鼎	7月5日	72人	鼎自治振興センター、公民館他草刈り、植木剪定、清掃
	10月11日	66人	〃
上郷	9月9日	70人	野底山森林公園の草刈り、林間学校清掃 平和殿の清掃、剪定

座光寺	7月17日	17人	麻績の里周辺草刈り、清掃、障子張りなど
遠山	10月11日	26人	遠山荘の窓拭き、清掃
高森町	6月25日	34人	あさぎり健康センター他2ヵ所で草刈り、清掃
豊丘村	7月9日	49人	役場周辺の草刈り、植木剪定など
	11月12、 13日	49人	とよおかまつり駐車場管理と接客対応
松川町	7月20日	29人	松川IC駐車場、子育て支援センター他草刈り
	10月29日	36人	〃
喬木村	10月16日	18人	運動公園草刈り、喬木荘樹木剪定と草取り
合計		延べ749人	

## 10 独自の講習会の実施

シルバーの会員にとって常に技術、知識の向上を図ることが必要です。このため、年間を通じての果樹園作業講習会の他、センター独自で、次のような講習会を実施しました。

講習会名	実施期日	参加人員	実施場所
果樹園作業講習会	5月6日	35人	松川町交流センター「みらい」
農薬講習会	7月1日	27人	シルバー会議室
草刈り	7月13日	29人	松尾城址公園
果樹園作業	9月14日	31人	松川町交流センター「みらい」
新人向け剪定講習	10月21日	18人	座光寺麻績の里周辺
柿作業	10月21日	27人	J A座光寺選果場跡地
障子貼り	10月25日	14人	シルバー会議室
襖貼り	10月27日	7人	シルバー会議室
柿剪定講習	12月12日	36人	上郷地区圃場
〃	12月19日	16人	豊丘地区圃場
建物管理業務研修	2月23・29日	143人	鼎公民館
文書配布・センター管理	2月23・29日	19人	シルバー会議室
剪定班全体講習会	3月5日	33人	鼎公民館

## 11 安全就業への取り組み

### (1) 安全就業大会の開催

期 日 9月16日(金)

場 所 鼎文化センター

内 容 ・会員意見発表 鈴木 栄 会員(山本)

・講演1 「体の機能の変化を再認識しよう」

飯田市危機管理・交通安全対策室 丸山 政文氏

・講演2 「これからの人生 ますますいきいきと」

飯田市滝の沢 塩沢 知治 氏

・「安全確認 声かけ運動」の呼び掛け

出席人数 437人

(2) 運転業務担当会員対象の安全運転講習会

4月20日、22日の2日間に分け、それぞれ午後1時半～午後4時にかけて実施  
会場、講師は飯田自動車学校 26名参加

(3) 安全パトロールの実施

7月29日 当シルバー独自のパトロール  
剪定現場、草取り・草刈り作業現場のパトロール

(4) 安全就業ニュースの発行等

6月 平成23年度「安全・適正就業推進の重点目標」について  
安全・適正就業に係る標語の募集  
11月 インフルエンザの予防と対策  
安全・就業について(ヒヤリハット事例分析)

(5) 県安全適正就業研修会への参加

10月13日 岡谷市 5人参加

(6) 傷害事故等の発生状況

区分	件数	前年件数
傷害事故	4件	2件
賠償事故	1件	3件
交通事故	4件	3件

この2年間件数では1桁台と少なくなっていますが、入院を要する事故も発生しています。

12 健康管理講習会の開催

会員が、日常家庭で手軽にできる健康づくりをお手伝いするため、「はつらつ運動塾」の先生をお願いして、健康管理講習会を、2会場で実施しました。

松尾会場 1月23日 44人出席

豊丘会場 2月 1日 33人出席

13 会議等の実施状況

(1) 総会、理事会等

4月 1日 第1回理事会 平成23年度事業計画・予算、公益社団法人発足に伴う例規の制定について他



26日	役員候補者選考準備委員会	
5月10日	監査会	平成22年度決算監査
16日	第2回理事会	平成22年度事業報告・決算、定時総会について他
26日	第1回定時総会	平成22年度事業報告・決算、役員の選任 報告平成23年度事業計画・予算他 出席者数563人
	〃	第3回理事会 理事長の選定
6月1日	第4回理事会	副理事長、専務理事の選定、委員会委員の選任、 事務費率の引き上げについて他
8月9日	第5回理事会	受注状況と就業開拓について、安全就業大会について他
10月6・7日	役員視察研修	三重県伊賀市シルバー人材センター、和歌山県高野町
10月14日	第6回理事会	安全大会の反省、役員研修視察の反省他
11月11日	監査会	平成23年度上半期監査
12月14日	第7回理事会	上半期事業の実施状況、未就業者の義務出席不履行への対応、 地区懇談会について他
12月21日	就業適正化委員会	
2月7日	第8回理事会	平成23年度事業会計決算見込みと補正予算、受注量の減少 と就業確保対策、地区懇談会について他
2月14日	顧問への状況説明会	
3月22日	第9回理事会	平成24年度事業収支予算(案)、事業計画(案)、地区懇談 会の総括について他
29日	地区代表・班長会	運営状況、地区懇談会のまとめ、平成24年度事業計画の概、 要就業方法の見直しについて他

## (2) 専門委員会の開催状況

### ①総務委員会

1月31日	第1回委員会	受注状況、地区懇談会について
3月14日	第2回	〃 平成23年度補正予算、平成24年度事業計画、収支予算 就業確保、第3期中期計画について

### ②広報啓発委員会

4月25日	第1回委員会	シルバーだより第72号の編集計画
6月1日	第2回	〃 〃 校正
9月2日	第3回	〃 〃 第73号の編集計画
10月11日	第4回	〃 〃 校正
1月17日	第5回	〃 〃 第74号の編集計画
3月9日	第6回	〃 〃 校正

### ③就業推進委員会

6月1日	第1回委員会	企業訪問について
------	--------	----------

- 7月27日 第2回 " 就業拡大について
- 9月2日 第3回 " 企業訪問について
- 3月14日 第4回 " 就業単価について

#### ④安全推進委員会

- 6月1日 第1回委員会 今年度の取り組みについて
- 6月20日 第2回 " 年間計画の検討
- 7月29日 第3回 " 安全就業大会について
- 9月29日 第4回 " 安全就業大会の反省について

#### (3) 視察の受け入れ

期 日 10月25日

視察団体 塩尻地域シルバー人材センター 23人

#### (4) 関連団体の会議、研修等

- 6月3日 県連合会通常総会（長野市）
- 21日 全シ協定期総会（東京都）
- 24日 事務局長会議、事務局長研修（長野市）
- 7月14日～15日 北シ協定期総会、研修会（金沢市）
- 22日 無料職業紹介責任者講習（東京都）
- 8月3日 理事・監事研修会（伊那市）
- 9月6日 南信ブロック理事長研修会（当センター）
- 10月13日 県連安全・適正就業研修会（岡谷市）
- 11月24日 業務担当研修会（諏訪市）
- 29日 経理事務担当研修会（松本市）
- 30日 構成市町村担当課長会議（当センター）
- 1月6日 事務局長会議（長野市）
- 3月6日 事務局長会議（長野市）
- 15日 県連合理事会（長野市）

#### 14 福利厚生事業

健康づくり事業のほか、福利厚生事業の一部を実施する会員互助会の活動を支援しました。